

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：6/18～6/22

### ・6/18(月)

大阪地震、日朝首脳会談模索、岸井成格さんお別れの会、アフリカからヨーロッパへの難民、静岡県前伊東市長の贈収賄などについて報じられました。大阪地震を除いた例示したトピックについて、放送法第四条の見地から検証を行ったところ、特に問題は見られませんでした。なお、番組構成についてと日朝首脳会談模索、岸井成格さんお別れの会については検証者の所感を記しました。

### ・6/19(火)

ワールドカップ、大阪地震、加計学園問題、金正恩氏が三度目の中国訪問、カジノ法案などについて報じられました。ワールドカップと大阪地震を除いた例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、加計学園問題については問題のある可能性の高いものでした。また、番組構成についてと加計学園問題については検証者の所感を記しました。

### ・6/20(水)

ワールドカップ、大阪地震、国会延長決定、米国・国連人権理事会離脱、盗撮で2等海尉を停職処分などについて報じられました。ワールドカップと大阪地震を除いた例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、特に問題は見られませんでした。

### ・6/21(木)

延長国会、アメリカ不法移民収容問題、北朝鮮が朝鮮戦争でのアメリカ人捕虜の遺骨返還などについて報じられました。これら例示したトピックについて、放送法第四条の見地から検証を行ったところ、延長国会については放送法に反する可能性があります。

### ・6/22(金)

大阪地震、ワールドカップ、イージスアショア配備問題などについて報じられました。これら例示したトピックの中でイージスアショア配備問題については放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。また、イージスアショア配備問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月18日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙                  ゲスト：八木勇治(筑波大学教授、地震予知連絡会委員、専門は個体地球物理学)                  ※皆川キャスターは新大阪駅から中継                  ※宇内キャスターはロシアのサランスク(W杯予選会場)から中継</p>		
<p>検証テーマ：日朝首脳会談模索、岸井成格さんお別れの会、アフリカからヨーロッパへの難民                  静岡県前伊東市長の贈収賄</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪で震度6弱の地震、鉄道などのインフラを直撃                      スタジオでは八木勇治氏をゲストとして大阪での地震について</li> <li>・日朝首脳会談模索</li> <li>・ベトナム女児殺害事件、元保護者会会長に死刑求刑、判決は来月6日</li> <li>・岸井成格さんお別れの会</li> <li>・高校バスで留学生在が審判に暴行延岡学園高校が謝罪</li> <li>・アフリカからヨーロッパへの難民</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today                      大阪「震度6弱」                      日朝首脳会談模索                      早実の非常勤講師を女性にわいせつ行為の疑いで逮捕                      静岡県前伊東市長の贈収賄で新事実                      受け子の男を指名手配</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日朝首脳会談模索：結論→特になし                      米朝首脳会談を承けて、安倍総理の外交姿勢にも変化が現れているということについて3月26日の参院予算委員会での安倍総理の「私が昨年もずっと主張してきたように、北朝鮮の側から話し合いを求めさせなければならぬ、そのためには圧力を最大限にまで高める、話し合いのための話し合いには意味がない、訳であります。」という答弁が取り上げられた後に、これと対比する形で以下に朱記した国会でのやり取りがVTRで取り上げられていた。                      安倍総理「金正恩国務委員長には米朝首脳会談を実践した指導力があります、日朝でも新たなスタートを切り拉致問題について互いの相互不信という殻を破って一歩踏み出したい。最後は私地震が金正恩国務委員長と向き合い日朝首脳会談を行わなければなりません。そしてこれを行う以上は拉致問題の解決に資する会談にしなければならないと考えております。」</li> </ul>		

ナレ『『そのうえで誰を拉致しているのか知っているのは北朝鮮だ、知っているすべてのことを話し拉致被害者を一日も早く帰国させてほしい』と期待感を示しました。さらに『拉致問題解決のためにはどのような y タンスも見逃すつもりはない』とも述べ、日朝首脳会談の実現を模索する考えを示しました。』

ナレ「また、商店となる経済協力については」

風間直樹(立憲民主党参院議員)「生存者を全員帰国させる、まあそうしないと国民の納得も得られませんし、当然北朝鮮に対して日本政府がその後ですね、経済協力資金を提供するということにも世論の納得が得られないと思うんですが。」

安倍総理「拉致問題がですね、解決をしなければ国交正常化はない、わけであります。拉致問題の解決をなくしてですね北朝鮮に経済協力の子なうことはない。」

ナレ「と述べ、日朝平壤宣言に則って、経済協力は拉致問題解決後になる考えを重ねて示しました。」

また、VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「安倍総理は金正恩党委員長を評価する発言も出たりして態度が変わってきているような気がするのですが、対話の方にかじを切るのでしょうか。」

星浩「そうですね、米朝首脳会談で世の中一気に対話ムードになりましたからね、まあそれに乗り遅れちゃいけないということなんでしょうが、まあ私は鍵を握っているのはバランスだと思うんですね、つまり今日の安倍さんの答弁で 2002 年の小泉さんの訪朝のときに自分はハードライナーつまり強硬派と言われていた、と、まあ自ら言っているんですけどもあの当時を思い返すとですね安倍さんは強硬派、一方、当時の福田官房長官とか田中アジア大洋州局長とかは対話派だったわけですね。やっぱり当時はその圧力と対話をバランス良く使って北朝鮮との交渉を進めたということですから、やはり日本もこれからもですね対話と圧力をバランスよく組み立てるという事が本当は大事なんですけれどもちょっと今まで圧力一辺倒でしたので、その再構築ができるかということですね。」

このトピックに当てられた時間は 246 秒だった。今回は特に各党で主張が分かれるようなことはなかったが、より具体的な時期や機会の見極めあるいはカードの話になると各党で主張が分かれることもあるだろうから、今後も注視したいテーマである。

・岸井成格さんお別れの会：結論→特に問題なし

先月肺腺癌のためなくなった毎日新聞の特別編集委員で NEWS23 の元アンカー岸井成格さんのお別れの会が東京都内で開かれたことについて報じられた。VTR の中では関口宏さんの「岸井さん、ただただ寂しくなりました。岸井さんの思いをどこまで引き継げるかはわかりませんが、もう少し頑張ってみようと思ってます。」というコメントが取り上げられるとともに、「福田元総理を始め、親交のあった政界や報道の関係者など 500 人以上が参列。会場では岸井さんを忍び VTR が流された他、毎日新聞の号外が配られ、参列者は権力の監視と声なき声に耳を傾けるという報道の責務を最後まで訴え続けた岸井さんとの別れを惜しみました。」とナレーションが岸井さんのお別れの会の様子について伝えていた。また映像では福田元総理の他に、森喜朗元総理や鳩山由紀夫元総理も参加している様子が取りあげられていたのみならず、「不東庵」で談笑する細川護熙元総理と岸井成格氏の写真なども映像に写っていた。

このトピックに当てられた時間は 60 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・アフリカからヨーロッパへ難民：結論→特に問題なし

今月上旬にイタリアが受け入れを拒否したアフリカからの難民などおよそ 630 人を載せた船が 17 日にスペインの港に入港したこと、イタリアの新政権は厳しい移民政策を掲げていて今回の対応を巡っては首都ローマで一人以上のデモが行われ今月末の EU 首脳会議を前に波紋が広がっていることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・静岡県前伊東市長の贈収賄：結論→特に問題なし

静岡県伊東市のホテル跡地の売買をめぐり前市長佃弘巳容疑者が建設会社の社長から便宜の見返りにおよそ 1000 万円を受け取ったとして逮捕された贈収賄事件について、市は 2015 年に東亜開発からホテルの跡地を購入していたがその際に佃容疑者自ら 500 万円の値下げ交渉をしていたことがわかったとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

検証者所感

・番組構成について

大阪での地震があったことから、それについての報道に当てられた時間が多かった。

・日朝首脳会談模索

星キャスターは「私は鍵を握っているのはバランスだと思うんですね、つまり今日の安倍さんの答弁で 2002 年の小泉さんの訪朝のときに自分はハードライナーつまり強硬派と言われていた、と、まあ自ら言っているんですけどもあの当時は思い返すとですね安倍さんは強硬派、一方、当時の福田官房長官とか田中アジア大洋州局長とかは対話派だったわけですね。やっぱり当時はその圧力と対話をバランス良く使って北朝鮮との交渉を進めたということですから、やはり日本もこれからもですね対話と圧力をバランスよく組み立てるという事が本当は大事なんですけどもちょっと今まで圧力一辺倒でしたので、その再構築ができるかということですね。」とコメントしていたが、米朝首脳会談に至るまでの日米韓はまさに、そうした強硬派と対話派のバランスを日本一国ではなく多国間でやっていたと言えはしないだろうか。

もし、日本一国でも強硬派と対話派のバランスを組み立てるためには、政権内の対話派あるいは穏健派ないしそうした雰囲気のある政治家が表に出てくることが重要なのではないだろうか。

また、今回の発言が政局から発せられた場当たりのものなのかどうかは、対話派・穏健派が政権のトップ、外交の顔となった状況でも「穏健派の後ろに強硬派が控えバランスをとることが大事」と言えるかどうかで明らかになってくるだろうから、今回の発言は記憶しておくべきものだろう。

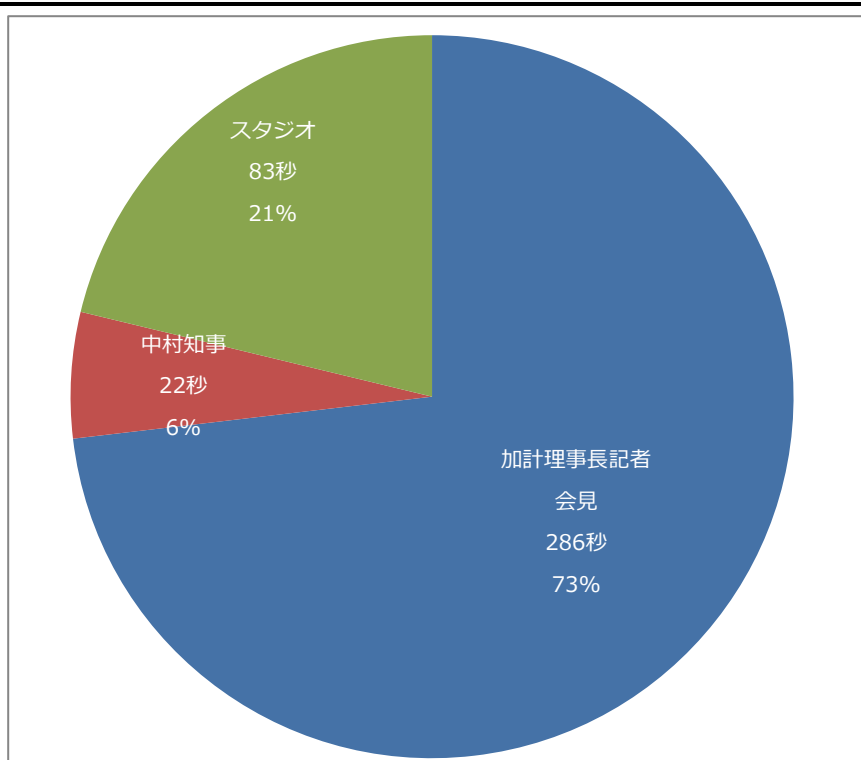
・岸井成格さんのお別れの会

## NEWS23 週刊報告 詳細版

「参列者は権力の監視と声なき声に耳を傾けるという報道の責務を最後まで訴え続けた岸井さんとの別れを惜しみました。」というナレーションが「権力の監視役、ジャーナリスト岸井成格」としての面を聴覚的に伝えるのとは裏腹に、映像ではお別れ会に参加する福田康夫元首相、森喜朗元首相、鳩山由紀夫元首相のみならず、細川氏の「不東庵」で岸井氏と談笑する細川護熙元首相の写真が取り上げられるなど、昔で言うところの「保守党の政治家」（細川元首相も鳩山元首相も自民党の候補として国政選挙初当選を飾っている）と広くそして深い親交を持ち信頼関係を築いてきた「政治記者、岸井成格」としての面が視覚的に伝わってくるという構成に感じられた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2018年6月19日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙          福田正博(TBSW 杯解説、サッカー元日本代表 FW、1993年ドーハの悲劇を経験)          ※宇内キャスターがロシアのスタジアムから中継</p>		
<p>検証テーマ：加計学園問題、金正恩氏が三度目の中国訪問、カジノ法案</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018W 杯、日本がコロンビア戦で勝利</li> <li>・ 静岡県で小4男児が刃物で切りつけられる、 校内侵入で逮捕した男を容疑者として捜査を進める</li> <li>・ 加計学園問題</li> <li>・ 大阪地震 建築基準法に反するブロック塀</li> <li>・ 金正恩氏が三度目の中国訪問</li> <li>・ メルカリがマザーズに上場。今年最大の上場</li> <li>・ カジノ法案が衆議院通過</li> <li>・ スポーツ報道</li> <li>・ 23Today W 杯予選</li> <li>静岡県、小4男児傷害事件 覚せい剤 100 キロを密輸、警察は背後に国際的密輸組織の存在があると見て捜査</li> <li>AKB 元メンバーにストーカー 埼玉県川口市、いじめで不登校について学校が放置と被害者側が市を提訴</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加計学園問題：結論→放送法に反する可能性がある              加計学園の加計孝太郎理事長が記者会見を開いたことについて報じられた。このトピックに当てられた時間は391秒で、今回は VTR で加計理事長の会見およびそれに関連するシーン、中村知事のコメントを取り上げた VTR のシーン、スタジオでのやり取りに大別され、時間配分及び比率は以下の通りであった。</li> </ul>		



加計孝太郎(加計学園理事長)「学園の代表者として深くお詫びを申し上げる次第であります。」

ナレ「問題発覚から一年あまり、安倍総理の腹心の友がようやく開いた会見は開始のわずか2時間前に地元メディアに通告、東京から記者が参加するのは時間的に不可能な状況でした。問われているのは加計学園が愛媛県に報告したこの面談、『2月25日に理事長が首相と面談、首相からはそういう新しい獣医大学の考えはいいね』とのコメントあり。2015年2月に安倍総理とかけ理事長が面談し獣医学部の計画について話合っていたというのです。」

加計学園事務局「お詫びを申し上げます。」

ナレ「しかし、加計学園は報告書が公開されると事務局長が県と市に嘘の報告をしていたと面談を否定、今日の会見で加計氏はこの事務局長を減給処分、自身の給与の一部を自主返納する考えを示しました。」

記者「事務局長が、渡辺事務局長が勝手にやったとそういう認識でいいんですか。」

加計孝太郎「はい、そうです。」

記者「虚偽の発言の上に新設された獣医学部、これについて理事長はどういうふうにお考えですか。」

加計孝太郎「ま、前に進めるためにやったというふうにしか伺っておりませんので、虚偽の発言と言えば虚偽の発言なんだろうと思いますけど、前に進めるためにあくまでやったというふうに聞いております、申し訳なかったと思います。」

記者「前に進めるためであれば仕方ないと…」

加計孝太郎「いや、そんな事はありません。」

記者「2月25日の前後でも安倍首相と直接でなくても電話やメールで会話や接触はなかったと断言できますか。」

記者「根拠はなんですか」

加計孝太郎「根拠は、とにかく記憶にないし、記録にございません。」

ナレ「総理動静などによりますと 2015 年に加計理事長と安倍総理は少なくとも四回会っています。一方総理は重医学部新設経過雨を去年 1 月になった初めて知ったと答弁しています。」

記者「ゴルフや会食などされていますが、全く獣医学部の話はなかったということですか？」

加計孝太郎「我々、基本的にはですね、もう何十年來の友達ですし、仕事の話はもう話すのはやめようということのスタンスでやっております、リラックスをするためにお会いしておりますから、仕事の話だとか、もちろん政治の話は聞いたことはございますけれども、もうこちらの話なんかあまり興味はないと思います。」

記者「総理が 1 月 20 日に加計学園の獣医学部新設を初めて知ったと報道ではありますけど、これ理事長本当ですか？」

加計孝太郎「それは、私は悪いですけど、知りませんですね、それは。」

記者「獣医学部の話をされたのはいつなんですか？」

加計孝太郎「それは、ないんじゃないかと思えますね、あの。それこそ決まってからだったのではと思います。」

ナレ「会見では新たな矛盾も浮上しました。総理秘書官だった柳瀬氏は 2015 年に加計学園関係者と複数面会したことを認めています。」

柳瀬忠夫(元首相秘書官)「加計学園やその関係者の方とお会いしたことはあると、そこは一貫してございます。」

ナレ「ところが」

記者「加計学園の職員、理事長ではなく職員の方が、首相官邸にいかれた、もしくは総理、周りの方に会われたということも全くございませんか？」

加計孝太郎「ないです。」

記者「ないですか？」

加計孝太郎「はい。」

ナレ「柳瀬氏との面会をはっきりと否定したのです。」

記者「今後はあの、国会から招致の要請があれば、加計理事長どのように、」

加計孝太郎「それは私が決めることではございませんので、お待ちしております。」

ナレ「質疑が続く中、加計理事長は」

記者「今回の処分です、国民の方が納得をされると思いますか？」

加計孝太郎「それは我々がコメントすることじゃないと思います。」

司会「あ、すいません、あの、申し訳ございません、あの、このあたりで本日の会見は。」

記者「なぜそんな事が起きたかちゃんと原因究明しないと。」

加計孝太郎「はい、これから気をつけます。」

記者「現段階で、気をつけるではなくて、なぜそういう事が起きたか。」

加計孝太郎「それも合わせてやりたいと思います。」

司会「はい、すいません。」

また、この VTR の直後に中村知事について以下に朱記したシーンが取り上げられていた。

ナレ「嘘の説明を承けていたことになる愛媛県の中村知事は」

中村知事「虚偽ということが正式に認められると辻褄が合わなくなってくる部分が出てきますから、これはもう認可の経過の問題ですから、これはあの、国会の議論になってくるんじゃないかなというふうに思っております。」



これらの VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

雨宮塔子「昨日は大阪で大きな地震があって今日はワールドカップ日本の初戦です。そうした中で会見を行ったという思惑をいろいろと勘ぐってしまいます。」

星浩「そうですね、緊急会見なら 9 時に通知があったんですけど午後にもいいわけですよね、そうすれば我々東京の専門に問題をフォローしている記者も行けるんですけど 2 時 5 分で打ち切りですから、これはまあまともな記者会見とは到底言えませんよね、自民党の中でその説明したほうがいいんじゃないかという声が出てきたんで、それに対する形作りだと思いますが、逆にその自民党や公明党の中からはちょっとその逆効果だったんじゃないかという声も出てくるくらいですね。」

駒田健吾「これまで会見を行うべきチャンスは何回もあったと思うんですけどもね、で加計理事長は、安倍総理とは獣医学部の話はしていないというふうに言っていますよね。」

星浩「しかしやっぱりそのいろんな疑念はもう全然消えてきませんよね、そもそもこの問題の疑念は許認可を受けるはずの加計さんと許認可をするはずの安倍さんがそのゴルフをやったり会食をしたりしてそのへんを見ている官僚たちが付度をしたんじゃないかっていう疑念なわけですよね、それに対するなんのその説明にもなっていないということです、国会に来てまた話をしてもらおうという声は収まりそうないと思いますね。」

官僚の言動の動機についてはどこまでいっても内心の話でしかなく、外形からそれらしい説を唱えることはできても、結局の所そうした説で言われている動機が本当なのかは知りようがないだろう。スタジオで星キャスターは「許認可を受けるはずの加計さんと許認可をするはずの安倍さんがそのゴルフをやったり会食をしたりしてそのへんを見ている官僚たちが付度をしたんじゃないかっていう疑念なわけ」とコメントしているが、学校法人の許認可権限は直接には文部科学省・文部科学大臣が持っており、内閣総理大臣が直接に行使できるわけではないのだから星キャスターの「許認可をするはずの安倍さん」という発言はやや正確さを欠いている。また、「腹心の友」とは言え元は赤の他人である加計理事長と安倍総理がゴルフや会食をする様子を見た程度で官僚が付度をするのであれば、政治家の出身ファミリーの経営する学校であるとか、有力政治家とファミリーである官僚というものに対しても十分に付度が働きうると思えるが、そうした事例が問題とならずに、今回の件だけが「付度」説が成り立つのであれば、なぜ他の場合では付度が成り立たず、今回の場合のみ付度が成り立つのかという点について結論ありきではなく詳細に検討・検証することが必要なのではないだろうか。そうしたものを欠いて「付度」ありきで報じるという点において放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に反している可能性がある。

・金正恩氏が三度目の中国訪問：結論→特になし

北朝鮮の金正恩党委員長は今日、三度目となる中国を訪問し習近平国家主席と会談を行ったこと、習主席は「米朝首脳会談で朝鮮半島の非核化の実現について原則的な共通認識に達したことをとても嬉しく思う」と歓迎した上で「中国は今後も建設的な役割を果たすことになる」とも述べたと中国中央テレビが報じたとのことが伝えられた。また、アメリカと韓国の両政府は北朝鮮との非核化へ向けた交渉が進んでいることを背景に 8 月の合同軍事演習を取りやめると発表したことも報じられた。このトピックに当てられた時間は 55 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

- ・カジノ法案：結論→特に問題なし

カジノ整備法案が衆議院本会議で自民、公明、維新などの賛成多数で可決され衆議院を通過したこと、立憲民主党など野党はギャンブル依存症など深刻な問題を抱えていると反発しているが、政府・与党はあす、会期末を迎える国会を一ヶ月程度延長する方針で法案を今の国会で成立させたい考えであることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・番組構成について

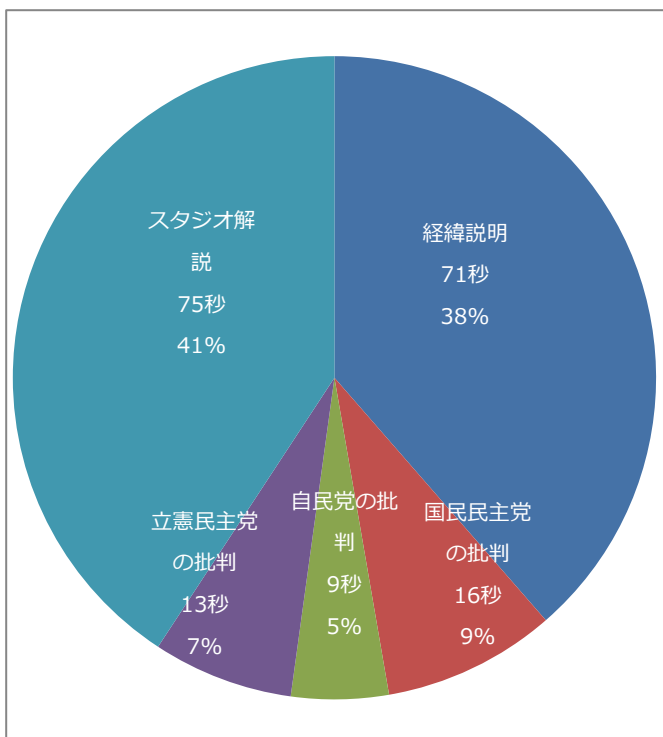
確かに、大阪の地震とワールドカップに多くの時間が割かれていた番組構成だった。

- ・加計学園問題

雨宮キャスターの「昨日は大阪で大きな地震があつて今日はワールドカップ日本の初戦です。そうした中で会見を行ったという思惑をいろいろと勘ぐってしまいます。」というコメントのように、会見のタイミングを勘ぐるかどうかは、この問題に対する態度にもよるところはあると思うが、今回のようにビッグニュースが重なるようなときこそ、ビッグニュースがないあるいは一つしかないような普段では見せられない各局や各番組の優先順位や得意分野・注力分野を視聴者に対して見せる絶好の機会ではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月20日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：国会延長決定、米国・国連人権理事会離脱、盗撮で2等海尉を停職処分		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーW杯歴史的勝利</li> <li>・大阪地震</li> <li>・国会延長決定</li> <li>・堺市、自殺装った殺人</li> <li>・正恩氏・三度目の訪中</li> <li>・女性看護師遺体遺棄事件</li> <li>・松戸女児殺害事件</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today <ul style="list-style-type: none"> <li>米国・国連人権理事会離脱</li> <li>盗撮で2等海尉を停職処分</li> <li>「紀州のドン・ファン」不審死</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会延長決定→結論：放送法第四条の見地から問題なし。</li> </ul> <p>今回は国会の会期が32日間延長されたことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は184秒間だった。なお、今回は経緯説明、与野党の批判の応酬（国民民主党、自民党、立憲民主）について焦点が当てられた報道で、それぞれの論点に当てられた報道時間と比率は以下の通りであった。</p>		



なお、経緯説明においては会期延長の経緯と、国会での与野党の批判のまとめが主な内容であった。与野党の批判では以下のようなやり取りがあった。

泉健太国対委員長（国民民主党）「サッカー日本代表に比べれば、ひどい戦いを与党はやっている。森で失点をし、加計で失点をし、セクハラで失点をし、自分でアディショナルタイムを設定し、32日間延ばす。」

森山裕国対委員長（自民党）「五月の連休のときにずいぶん長い連休がありましたので、そのこともひとつ影響していると思います。」

辻元清美国対委員長（立憲民主党）「働き方国会を完成させるために延長だみたいなこと言っていますが、何が働き方なんですか。カジノでどうやって働くんだ。週3日も行って。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・米国・国連人権理事会離脱→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回はアメリカが国連の人権理事会から離脱することを発表したことが伝えられた。パレスチナの抗議デモで多数の死者が出たことを受け、イスラエルへの批判が高まっていることを受け、イスラエルを支援しているアメリカが人権理事会からの離脱の理由とされた。このトピックに当てられた報道時間は22秒で、放送法の見地から問題は見られなかった。

- ・盗撮で2等海尉を停職処分→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は2等海尉が防衛省内の女子トイレに侵入したとして処分されたことが伝えられた。2等海尉が女子トイレに侵入した目的は盗撮用のカメラを仕掛けるためと述べていると伝えられた。このトピックに当てられた報道時間は21秒であった。放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

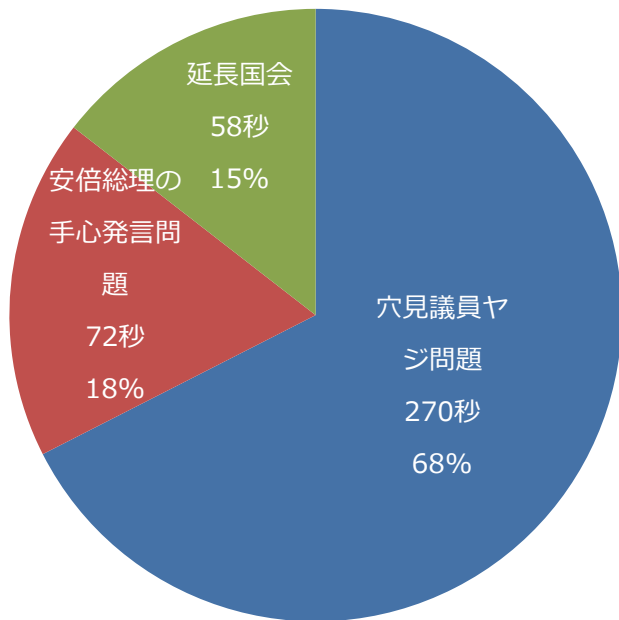
## NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感  
特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年6月21日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：延長国会、アメリカ不法移民収容問題、北朝鮮が朝鮮戦争でのアメリカ人捕虜の遺骨返還		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・弟自殺偽装殺人で女逮捕</li> <li>・延長国会</li> <li>・ブロック塀崩壊の小学校再開</li> <li>・新幹線殺傷事件</li> <li>・アメリカ不法移民収容問題</li> <li>・エアビーアンドビー「不法民泊」多数掲載か</li> <li>・横浜一家殺傷事件</li> <li>・スポーツ情報</li> <li>・23Today</li> <li>弟自殺偽装殺人</li> <li>延長国会と穴見議員ヤジ問題</li> <li>北朝鮮が朝鮮戦争でのアメリカ人捕虜の遺骨返還</li> <li>日大タックル問題</li> <li>「はやぶさ2」が小惑星を捉える</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長国会→結論：放送法第四条第一項二号に照らし合わせると不十分</li> </ul> <p>32日間の延長が決まった国会についての報道であり、このトピックスに充てられた時間は400秒であった。なお今回の報道では自民党の穴見陽一衆院議員のヤジ問題、安倍総理の手心発言問題、延長国会自体への発言の3つの論点にスポットが当てられた報道であった。それぞれの論点について充てられた時間やその比率は以下の通りだった。</p>		



延長国会自体への発言については麻生太郎財務相の発言が紹介され「(日本対コロンビア)2-1 になってこれで終わるかと思ったらロスタイムがあと 5 分、長く感じたろ、あの 5 分。今回のこの延長も同じや。間違いなくこのロスタイムに下手な失点が起こさないようによろしくお願いします。」と延長国会を先日行われたワールドカップの試合に例え、参加者の笑いを誘っている様子が報じられた。

安倍総理の手心発言問題は、森友加計問題についての集中審議について安倍総理が自民党の河村建夫衆院予算委員長に対して「予算委員会お手柔らかに。」「もう集中審議は勘弁してくれ。」と語ったとされる問題であり、野党幹部の「信じられない。だったら国会閉じろよ。真相究明する考えが全くないことがよくわかった。」という発言や、河村委員長が「予算委員会よろしくね。という感じの挨拶があったことは事実ですが、勘弁してほしい」という言い方のものは一切総理からありませんでした。」と発言の訂正をする様子が報道された。

穴見議員ヤジ問題は自民党の穴見陽一衆院議員が参考人として呼ばれた日本肺がん患者連絡会の長谷川一男理事長に対して「いい加減にしろよ。」とヤジをとばした問題で、立憲民主党の逢坂誠二衆院議員は「(参考人)お願いをして国会に来てもらって、知見を披歴していただきたいということでこちらが頼んで来ていただいているわけです。その方に対して暴言を吐くなんていうのは国会の役割も国会議員としての節度も何もない。」と非難していた。また一連の批判に対して穴見議員は「参考人の発言を妨害するような意図は全くなく、喫煙者を必要以上に差別すべきではないという思いでつぶやいたものです。とはいえ今後十分に注意して参りたいと存じます。」との発表を

また一連の問題についてコメンテーターの星浩氏は「そうですね。穴見さんは当選 3 回ということで自民党が圧倒的多数を持っている国会しか知らないわけですね。自民党は数で押せば何でもできるというような驕りがね、こういう発言に繋がるとすればもってのほかなんです、やはりその本来は国会は合意形成ですからね、

例えば今の働き方改革法案だとか、参議院の定数改正の問題も本当は与野党で合意形成して行かなくちゃなんないですけど、今の国会にはどうもそういう動きがなくて、これは与党の責任が非常に重いと思いますね。」と発言していた。

穴見議員のヤジについては委員長から口頭での嚴重注意などがあったことから、否定的な意見が多くみられるのは致し方ないものとする。しかし与野党での合意形成について星浩氏の「今の働き方改革法案だとか、参議院の定数改正の問題も本当は与野党で合意形成して行かなくちゃなんないですけど、今の国会にはどうもそういう動きがなくて、これは与党の責任が非常に重いと思いますね。」との発言は余りにも一方的であり、放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること。」に照らし合わせると不十分であるとする。

・アメリカ不法移民収容問題→結論：特に問題は見られず

トランプ政権が大人の不法入国者は例外なく刑事訴追するというゼロトレランス政策を先月から実施していたものの、2000人近くの子供たちが親とは別の施設に収容される結果となり、6月20日に大統領令に署名して親子別々の収容をしないように指示をしたことについての報道。このトピックスに充てられた時間は78秒で賛否が分かれる点は見当たらなかった。

・北朝鮮が朝鮮戦争でのアメリカ人捕虜の遺骨返還→結論：特に問題は見られず

アメリカのトランプ大統領が朝鮮戦争で死亡したアメリカ人捕虜等200人分の遺骨が北朝鮮からアメリカ側に変換されたことを明らかにしたことについての意報道。6月12日の米朝首脳会談の共同声明では朝鮮戦争でのアメリカ人捕虜や行方不明になった兵士の遺体の収容が明記されており約束の一つが履行されたことになった。このトピックスに充てられた時間は26秒で特に問題点は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし



# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS テレビ	番組名： NEWS23	放送日： 2018年6月22日
出演者： 星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ： イージス・アショア配備問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京湾に迷いくじら出沒</li> <li>・大阪北部地震で倒壊し死亡事故発生ブロック塀、専門家が過去に警告</li> <li>・サッカーW杯、日本 VS セネガル戦まであと48時間</li> <li>・W杯不出場も看板続々…中国スポンサー急増のワケ</li> <li>・あす沖縄「慰霊の日」</li> <li>・「紀州のドンファン」不審死、愛犬の死骸の鑑定結果が発表されるも覚せい剤検出されず</li> <li>・小野寺防衛相、山口・秋田県両県知事に対してイージス・アショア受入れ要請</li> <li>・松居一代さん書類送検、元夫を SNS 等で中傷</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> </ul> <p>“ナンパ塾”関連先を捜索 受講生2人 人性的暴行の疑い          参院議員会館で大麻草が植えられる          学習塾責任者が盗撮で逮捕          離散家族200人が対面へ 南北赤十字社が合意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イージスアショア配備問題→結論：放送法第四条の見地からは問題なし</li> </ul> <p>今回の報道はイージス・アショアの配備問題についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は76秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>なお、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>雨宮キャスター「米朝首脳会談を受け、対話モードになっているのにこの計画は変わらないとは」</p> <p>星キャスター「この計画には地元を含めて二つ疑念があると思いますね。</p> <p>一つは対話モードですね。米朝首脳会談を受けて日朝首脳会談もやろうとしているわけですけど、そんなときに800億や1000億もするイージス・アショアを買わなければならないのか。</p> <p>もう一つは、トランプ大統領が事あるごとに防衛装備品を買うように日本に求めてきているので、トランプ大統領のプレッシャーで買わざるを得ないのかという疑念が生まれてましてね。防衛省はその疑念に説明する責任があると思いますね」</p>		
<p>最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>とくになし</p>		

検証者所感

・ イージスアショア配備問題

イージス・アショアの配備問題を巡るスタジオでの論評は、概して米朝関係が融和に向かい、北朝鮮の軍縮が進もうとしている状況下で、我が国が多額の予算をかけて対北朝鮮を意識した防衛装備の増強を図ることに違和感を呈するものであったが、国内に豊富なウラン鉱脈を抱えている北朝鮮にとっては、一度核を放棄しても（国際社会に向けてそのようなポーズをとっても）再核武装のハードルは決して高いものではないため、少なくともトランプ政権の任期の間は報復のリスクを恐れて静観していても、米国で政権交代が起こった際には再び軍拡、再核武装に突き進む可能性は否定できないように思えるが、雨宮キャスターの質問、そしてそれに対する星キャスターのコメントは、自国民に対する説明責任をほとんど負っていない独裁国家の指導者の言動を真に受けた、あまりにも楽観的な国際認識に基づいてはいないだろうか。